

地方独立行政法人天王寺動物園寄附金等取扱要領

令和3年4月1日

最近改正令和3年5月12日

(目的)

第1条 この要領は、地方独立行政法人天王寺動物園（以下「法人」という。）が受け入れる寄附金等について、その取扱いに関し必要な事項を定め、適正な運用に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この要領において、「寄附金等」とは、法人における業務の推進を目的に寄附される現金、有価証券及び次の各号に定める現物をいう。

- (1) 土地
- (2) 建物
- (3) 車両運搬具
- (4) 機械装置
- (5) 工具器具備品
- (6) 動物に関する資料
- (7) その他法人の業務遂行に要する物品等

(充当経費)

第3条 寄附金等のうち現金については次の各号に定める経費に充てることができる。

- (1) 法人の飼育・診療・研究に要する経費
- (2) 法人の施設・設備の整備に要する経費
- (3) その他法人の業務遂行に要する経費

(受入れの制限等)

第4条 次の各号に掲げる条件の付されている寄附金等は、これを受け入れることができない。

- (1) 寄附金等により取得した財産を無償で寄附者に贈与すること
- (2) 寄附金等による研究の結果得られた特許権、実用新案権、意匠権、商標権及び著作権その他これらに準ずる権利を寄附者に譲渡し、又は使用させること
- (3) 寄附者が寄附金等の用途について調査を行い、又は用途について報告を求めること
- (4) 寄附申込み後、寄附者の意思により寄附金等の全部又は一部を取り消すことができること

(5) 研究上支障があると認められる条件

(6) その他法人の業務遂行に支障があると認められる条件

(申込み)

第5条 寄附金等の申込みは、寄附申出書等により受付けるものとする。

2 寄附金等の申込みを受け付けたときは、経理責任者を通じて理事長に報告するものとする。

(受入れの決定等)

第6条 理事長は、寄附金等の申込みがあったときは、寄附金等の使途目的が法人の業務遂行上、有意義であり、かつ、支障がないと認められるものについて、受入れることができるものとする。

2 理事長は、受入れの決定をしたものについては、理事会に報告するものとする。

(使途変更等)

第7条 理事長は、経理責任者から寄附目的を達成し、残額が生じ、他の使途目的に使用する旨の申請があったときは、適当と認められる場合に限り当該申請を承認するものとする。

(雑則)

第8条 この要領に定めるもののほか、この要領を実施するために必要な事項は、別に定める。

附則

(施行期日)

この要領は、令和3年4月1日から施行する。

(施行期日)

この要領は、令和3年5月12日から施行する。